



会員の声

皆様に感謝

〜チャリティーバザー〜

もみじが丘幼稚園(P)

横澤 美香

七月十三日、



もみじが丘幼稚園別棟にてチャリティーバザーを行いました。事前に園服や体操着等の寄付を募り、バザーでは全品値段を一律とし、プラスお気持ちとして寄付をしていただくことにしました。保護者の皆様から温かなお心を寄せていただき、寄付品は予想以上にたくさん集まりました。

当日はあいにく大雨でしたが、おかげで来園の時間帯が分かれ密を避け買い物をしていただくことができました。運動会の練習の為に体操着の替えを探す方、お子様の成長に合わせてブラウスやスカート等を手取る方が多かったように思います。皆様のご協力のおかげで、混雑することなくスムーズにバザーを終えることができました。

このバザーの収益金につきましては、卒園・進級児へのプレゼント代として子どもたちに還元し、大切に使用させていただきます。足元が悪いなか来ていただきました保護者の皆様、バザーの主旨をご理解いただき協力くださった先生方、本当にありがとうございます。

した。

コロナの感染状況が続く保護者会活動が難しいなかですが、今回チャリティーバザーを開催できた事をとてうれしく思います。今後も保護者と幼稚園との繋がりを大切にしながら、子どもたちのためにできることを考えていけたらと思っています。

笑い声

石巻カトリック幼稚園(P)

鈴木 静香



我が家の一人娘は年長さんになりました。コロナのおかげで、PTA活動は開始後間もなく中止となりました。しかし、この中止からのスタートが、後々の幸福感につながるようになるのです。

カトリック幼稚園では、毎年夏休み明けに「幼稚園まつり」という催し物がPTA主催で行われます。子どもたちの楽しむ姿を想像しながら、各クラスの出し物を考えるのですが、限られた予算のなかで景品を決めて、工作をして、ホールにはママ同志の笑い声が響きます。PTA活動がなかった年を経験したからこそ、皆さんとの交流の喜びを実感しました。

それから今年、園



行事で「親子遠足」と「親子体育遊び」がありました。この学年にとつては、最初で最後という、とても貴重な行事でした。ラストの年に、親子行事の場を設けて下さった園に改めてお礼申し上げます。

マスク生活を余儀なくされる子どもたち、大きな地震に何度も見舞われる子どもたち。こんな不安な時代だからこそ、せめて、愛には恵まれて欲しい。そう、切に願っています。

キャンプ

南光幼稚園(P)

鈴木小百合



南光幼稚園の一大イベント、年長さんになる

と親から離れてのキャンプがあります。

初めて親と離れてのお泊まりですが、いつも一緒に先生や友達とならへっちゃら？と思いきや色々不安が。夜のトイレは大丈夫？虫が苦手なのに大丈夫？でも親が心配すると子にも響くので、平然を装うのに必死です。担任の先生にひそひそと心配ごとを報告していました。

キャンプ当日は天気ももつてくれたようで、予定通りのスケジュールを送れたようでした。家では、渡されてあるスケジュール表を見

て、今頃これしてるころだなーとチェックしてソワソワしながら過ごした母でした。

翌日、幼稚園で帰りを待つっていると、同じように落ち着かなかつたというお家の方が多かったです。帰宅してきたみんなの顔はちよっぴり大人になっていました。少し恥ずかしそうに手を振ってくれた子や、自信に満ちた顔の子も。帰宅後は、キャンプでの思い出をたくさん話してくれました。お友達と寝たことや、カレーが美味しかったこと、スイカ割りをしたことなど。

コロナ禍でたくさんの方の対策をしながらキャンプに連れて行ってくれた先生方にはとても感謝しています。親子共々、貴重な経験をありがとうございます。



南光幼稚園大運動会

南光幼稚園(P)

中嶋 千秋



六月十八日、南光幼稚園大運動会が行われました。

堂々と胸を張り、腕を大きく振り行進する姿に、この日まで一生懸命練習を重ねてきたことが

伝わり胸が熱くなりました。

年長さんから、年中さん、年少さんへかけこの応援から始まり

かわいらしいダンス、親子で参加の大王転がしやリレーなど様々な種目があります。その中でも年長さんの「ソイヤ!!」は南光幼稚園恒例の競技です。代々、受け継がれる青い法被を着て、格好よく踊る姿は、年中さん、年少さんの憧れでもあります。曲の後半はフォーマーション移動をして、バランスを披露してくれました。V字バランスや片手バランス、テーブルと三つの技がピシッと決まっています。とても格好良かったです。



そんななか、私たちは「役員さん」として、総練習と本番の二回、子どもたちのサポート役で運動会に参加しています。衣装付けや水分補給時などの手伝いをしていると、子どもたちから「○○ちゃんのお母さん」「お願いします」「ありがとう」などと言われると、うれしくて一層、応援に力が入ります。娘の卒園まで半年となりましたが、今しかない瞬間を心のアルバムに残し、これからも子どもたちの成長を近くで見守っていきたいと思っています。